例会変更のご案内

月日	曜	クラブ名	例会場	→	月日	曜	場所	時間
09/08	火	高松中央RC	高松国際ホテル	→	09/08	火	定款第7条により休会	
09/08	火	丸亀東RC	オークラホテル丸亀	→	09/08	火	香川労災病院	12:30
09/15	火	高松中央RC	高松国際ホテル	→	09/15	火	魚夏	18:30
09/15	火	坂出RC	坂出グランドホテル	→	09/15	火	炭火と酒家 奏・Sou	18:30
09/29	火	高松中央RC	高松国際ホテル	→	09/29	火	時間変更	18:30
09/29	火	丸亀東RC	オークラホテル丸亀	→	09/24	木	護国神社	19:00
09/29	火	坂出RC	坂出グランドホテル	→	09/29	火	定款第7条により休会	
09/30	水	坂出東RC	坂出グランドホテル	→	09/30	水	休会	

ニコニコBOX　創立第2724回例会　9件　計　18,000円　累計　278,000円

藤井さんにお世話になりました。(国領君)
米田さんにお世話になりました。(平尾君)
平尾会長、橋本幹事さん、ありがとうございました。(西山君)
坂井さん写真ありがとうございました。(西山君、立野君)
誕生祝い。(野村君)
早退お詫び。(藤井君、三好君、国領君、長尾君、槙塚君)

卓話「「出席」が育む信頼と奉仕 ～ロータリーにおける例会の本質と実践の意義～」

■出席の意義と100%出席へのコミットメント
・卓話の目的:　出席委員会の蓮井委員長と曽我部副委員長が卓話を担当し、新入会員としての学びも兼ねて、ロータリーにおける「例会出席」の意義を再確認しました。
・例会の本質と四大価値: ロータリーの基本精神である「入りて学びいでて奉仕せよ」を軸に、例会は多様な職業の会員から知見を得る「学びの場」であり、奉仕に向けた充電の場であると説明しました。出席がもたらす価値として、以下の4点を提示しました。
　○ 親睦の進化: 毎週顔を合わせることで生まれる深い友情と連帯感
　○ 多様な知見と学び: 異業種の専門知識や新しい視点の獲得
　○ モチベーションの再充填: 同じ志を持つ仲間と時間を共有する情熱の回復
　○ 奉仕への基盤創出: 協働による効果的な社会貢献活動の創出
・三大義務と100%出席の伝統:　例会への出席は、会費の納入、ロータリー雑誌の購読と並ぶ「会員の三大義務」の一つです。当クラブが2016年7月から「100%出席」を継続している誇りと実績を共有し、出席しやすいクラブづくりのために参加促進を続けていく決意を示しました。
■出席と信頼の相互関係
・信頼構築のプロセス: 信頼は1回の会話では構築されず、継続的に例会に参集し、時間を共有する約束を守り続ける「無言のメッセージ」によって育まれます。
・信頼を循環させる3つのステップ:
　1. 出席: 例会へ継続して参集し、基本的責務を果たす
　2. 信頼: 対話を通じて互いの人柄や職業倫理への敬意を育む
　3. 奉仕: 構築された信頼関係を力に変え、大きな社会貢献活動を実現する
■奉仕の輪の広がりとメイクアップ制度の活用
・メイクアップ制度による責任の継続:　仕事や不測の事態により自クラブの例会に出席できない場合、例会前後の14日以内であれば、他クラブの例会、地区大会、セミナー、あるいはオンライン(Eクラブ)等への参加によって出席を補うことができるメイクアップ制度の重要性を解説しました。
・視野の拡大:　メイクアップは単に出席数を合わせるためだけでなく、他クラブの異なる文化に触れ、視野を広げて自クラブへ還元するための有益な手段であることを強調しました。

出席委員会　委員長　蓮井 大作 君
副委員長　曽我部 昌弘 君